

スウェーデン カルマル県 ソダーポート高校 濱松さん

留学期間：R1.8~R2.6（1年間）

私は昨年8月からスウェーデンに留学しています。約5ヶ月経った今、ホストペアレンツとホストシスター、ホストブラザー、あとは1匹の大型犬と豊かな自然に囲まれた中で暮らしています。

スウェーデンに来て5ヶ月、つまり留学の約半分が経ちました。この5ヶ月間でたくさんを経験し、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができます。ここに来て1番肌で感じ驚いたことは、日々の暮らし方です。スウェーデンでは家族との時間をとても大切にします。一般的に日本人は仕事の残業や学校の補習、部活動などに多くの時間を費やしています。しかしスウェーデンの一般的な家庭では、仕事が16時~18時には終わり、学校は16時に終わる所が多いです。そして休日は仕事も学校もありません。このようなスウェーデン



ホストグランドマザー誕生会の様子



参加しているオーケストラの練習風景

のゆとりある生活を体験したことで、改めて日本人は忙しいんだなと感じました。実際にスウェーデンに暮らすことで日本とは異なる部分も似ている部分も、たくさん発見することができます。

私の大好きな行事の一つであるクリスマスも、過ごし方、祝い方が日本とは異なります。まず、スウェーデンではクリスマスの月である12月からクリスマスの準備をし始めます。多くの家が飾り付けをし、クリスマス気分を早くから感じます。そして12月13日にはLuciaというクリスマスシーズンの祝祭があります。Luciaはとても大切な祝祭で、一家の子供の中で年長の少女がこの祝祭に参加します。少女は聖ルシア祭に扮してロウソクの冠を被り、ロウソクを手に持ち、同じ扮装をした少女達と一緒に進みます。ロウソクは生命を奪うことを拒む、火の象徴です。このような祝祭を終

え、ついにクリスマスがやってきます。私のホストファミリーは毎年少し遠い所に住んでいる親戚の家まで行き、みんなでクリスマスをお祝いします。クリスマスイブ当日は特に何かするというわけではなく、朝から飼い犬の散歩にいとこ達と出かけて、そのあとは親戚みんなで特別な食事をとりました。スウェーデンの伝統的な料理がたくさん並べてあり、そこから自分のお皿に取り分けていきます。スウェーデンの人々は食べるのが大好きでたくさん食べます。私はすべてのスウェーデン料理を味わってみたかったのでたくさん取り分け、後半は本当にお腹がいっぱいでしたが、とてもいい経験になりました。特別な食事を終えたあとはテレビを見たりお菓子を食べたりとゆったりとした時間を過ごしました。そして夜になるとクリスマスツリーの下に隠してあったプレゼントを開封し、家族たちに日頃の感謝を伝えました。このような体験は日本ではしたことがなかったのでとても嬉しくて、一生忘れない思い出になりました。スウェーデンのクリスマスは特に縛りはなく、親戚みんなで集まって共に時間を過ごすという感じでした。

このような素晴らしい留学生活を支えてくださっている家族や友人、ふるさと納税者の方々には本当に感謝しています。支えてくださっている方がいるおかげでスウェーデンの生活を満喫することができます。出会いがたくさんあり、新しい自分にも出会うこともできます。残り半分しかない留学生活ですが、自分に何ができるのかを改めて考え直し、帰国した時に成長することができたという胸を張って言えるような生活を送っていきたいです。



友達と参加した Lucia 祭